

別添（議事録様式）

令和5年度 志木市立志木中学校 第3回 学校運営協議会議事録

1 開催日時 令和5年9月8日（金） 11:00～12:40

2 場所 志木市立志木中学校 視聴覚室

3 出席者

山崎 徳生	木下 武三	村田 啓吾	中村 和子
渡邊 和枝	安部 洋子	佐藤 康治	本 荘 真

（計 8 名）

【事務局 進行 清水 智之 記録 植島 安英】

4 協議内容

（1）小中一貫教育について

・小中一貫教育推進計画案の説明(パワーポイントによる)

明後日9/10(日) 志木中学区小中一貫教育説明会。

<質疑>

・地域の人に対する効果が弱いような気がする。ゲストティーチャーなどをPRしてほしい。また、中1ギャップについて、本当に小中一貫教育でなくなるのか。3校の距離感を考えて、中1ギャップがなくなるとは思えない。

→小学校2校から中学校1校になることでの情報共有、連携は小小連携を含めて強化しなければならない。現状でも生徒指導上の話等も進めている。教科書を使う上で、小中一貫教育は進められているが、より情報共有を進め、学習をしっかりフォローしていきたい。

・志木市教育委員会から具体的なものが出てこない。何をするか明確にしてほしい。例えば、3校合同文化祭など行うことはどうか。

→急に新しいものを行うことはないと考える。今まで行っていたものをスクラップアンドビルド・ブラッシュアップしていく形になるだろう。3校合同文化祭のような新しい取り組みは行わない予定である。

・小中いいところも削らなくてはならないが地域の人でも今まで以上に考えていければと思う。新しいことを地域力でやっていければと思う。

・今後4中学校区同士のつながりはあるのか。

→情報共有シートなど、横の情報共有は必要。現在の幼保小情報共有シートを中学校へつなげたい。

・先生方の働き方で行事を削っていかなければいけないかもしれないが、地域を巻き込んでイベントをやったらよい。

- ・学童の職員だが、学校の先生がどのように学習指導していたかを知りたい。学習指導をしてあげたいが、学校と違う教え方になってしまい、指摘されたことがあった。小中一貫も含め、地域の人を巻き込んで指導してあげたい。
- ・令和7年開始はタイトスケジュールではないかと思う。
- そこまで大きく変わることはない。乗り入れ授業を今後は検討していきたい。
- ・共生社会推進課はもっと学校に生徒情報をアクセスしてくべき。知らなかったというケースがある。

(2) コミュニティ・スクールと地域学校共同活動の一体的推進に向けて

- ・8/4 県のコミュニティ・スクールフォーラムの資料を活用して

<質疑>

- ・運営協議会で提言できることが分かったので、今後は教育委員会にいろいろ提言をしていきたい。
- ・将来的に義務教育学校を目指していくのか。
- 志木二中で効果が確認されて、ハードができてからだと考える。すぐには難しいと考える。
- 小中一貫学校は勤務する学校種に応じた免許があればよいが、義務教育学校は両方の免許が必要である。その難しさもある。
- ・小中一貫が始まってもそんなに変わらない。逆に安心した。できることが増えるだけだとわかった。
- 小中一貫と言われると私立のイメージがあるので、学習を先取りしたり何か特別なことをしたりするイメージを持つ人が多いと思う。
- ・学校評価アンケートを協議会委員で検討していきたい。何か意見があれば聞いてくれる学校だと思われたい。
- いいように変えながらで良い。長としてもっと広く声を掛け、いろいろな方に手伝ってもらいながら、やっていけたらいいと思う。足りないところを出してもらって方策を考えていけたらよい。

5 次回の開催日程

令和5年11月2日（木） 11：00 学校公開日